



道徳教育

自己の生き方を見つめ、主体的に考え、よりよく生きる児童の育成

—自分の考えを広げ、思考を深める道徳科の授業づくりをめざして—

長南小 佐藤 大地  
思考を深める道徳科の授業づくりをめざした実践報告

特別支援教育

コミュニケーション能力の育成

—人とのふれあいを通して学べること—

睦沢小 石井 真理  
友達や教職員と関わり合う学習活動を通して、自分の気持ちを伝えようとする児童の育成

特別活動・学級経営

ゼロベースから始める生徒会改革

南 中 富山 愛海  
ポストコロナ時代に生徒が自分たちで創る生徒会活動をめざした実践報告

生徒指導

自己指導能力を高める生徒指導

—教員の指導・支援法—

本納小 濱田 貴紀  
児童の「自己指導能力」を高めるために、どのような指導・支援を行うべきかについての実践報告

キャリア教育

コロナ禍におけるキャリア教育のとりくみ

長柄中 金坂 宙弥  
キャリア教育において、自分の生き方を考えること

情報・視聴覚教育

学校における、タブレット端末の活用方法

一宮小 長島 元氣  
南 中 今井 悠人  
GIGAスクール構想において整備されたタブレット端末の有効的な活用方法及び、授業展開の実践報告

学校図書館教育

主体的な読者を育む読書指導の研究

—オリジナル宮沢賢治記念館づくりを通して—

茂原小 渡邊 紘志  
多様な読書活動やICTの活用による協働的な学習を単元に位置付け、主体的な読者の育成をめざした実践報告

学校事務

チーム学校の一員として、時代の変革に柔軟に対応しながら創造する、これからの学校事務

茂原小 安藤 裕美  
東部小 芝崎 香苗  
教育予算改善プロジェクトを通じた教育環境整備の実践

食教育

よりよい食生活を送る児童の育成をめざして

—栄養教職員と連携した指導を通して—

東郷小 森川 珠美  
給食を教材とし、食べ物がもつたらしきを知ることで、自己の食生活を見つめ直す授業の実践報告

環境教育

学校の環境を整え、生物に関心をもつ心を育む

富士見中 江口 隆亮  
植物や動物など生物に関心のある生徒が少ないと感じているため、教室や駐車場など学校に生物が増えれば関心をもつ生徒が増えると考え、本主題を設定した

安全教育

「自分ごと」としてとらえ、自ら適切に判断できる児童の育成

—インターネット・SNSに潜む危険から身を守る指導を通して—

日吉小 村田 元氣  
外部講師や動画教材を活用した授業や標語作成を行う

情報処理(統計)教育

生きる力を育てる統計教育

—統計的な見方・考え方を身に付け、主体的に生きる児童・生徒の育成をめざして—

長生中 大島 美幸  
社会科の学習において、統計的手法を用い、情報を理解・判断・活用できる生徒の育成を実践から明らかにする

生活科・総合的な学習

活力と魅力ある一宮町の創り手の育成

—プロジェクト型学習を通してのシビックプライドの醸成—

東浪見小 樋口 陽樹  
児童自身が、町の課題解決にむけて、全十九のプロジェクトを立ち上げ、具体的な活動にとりくんだ実践の報告

民主的學校づくり

青年部から紡ぎ合う！多忙感軽減に向けて

—各分会のとりくみ調査を通して—

東浪見小 目黒 吉晃  
各分会で行っている働き方改革の実践を調査し、青年部教職員から発信できる働き方改革をめざした実践報告

両性の自立と平等をめざす教育

互いを尊重し、支え合い、一人ひとりが自分らしさを大切に

—「多様な性」や「ジェンダー平等」について理解を深め、自分らしくよりよく生きることでできる生徒の育成—

東 中 須藤 汐  
「性の多様性」に関する授業と研修の実践報告

幼年期の教育

進んで人と関わり合い、生き生きと活動する児童の育成をめざして

—関わりを広げる学習を通して—

東部小 後藤めぐみ  
児童の思いを大切に、学級同士で楽しく交流する場を設定することで、研究主題の児童の育成をめざした

全体会の開催と分科会の御案内

四月二十七日(木)に令和五年度長生教育研究会全体研修会・第七十三次長生教育研究会全体会がオンラインで開催されました。

当日、御来賓の皆様には長生教育会館にて御臨席を賜りました。分会の皆様は、御臨席を賜りました。オンラインを通して各分会から御覧いただきましたが、皆様は、どのような感想をもたれたでしょうか。是非とも忌憚のない御意見を



今年度より、分科会の対面開催を再スタートできることとなりました。長生村立長生中学校の御協力をいただき、八月二十一日(月)に実施いたします。詳しくは今後の御案内を御参照ください。

教育研究レポート実践講座の御案内

二〇一九年度にスタートした「自主研修会 教育研究レポート実践講座」を、本年度も開催する予定です。

この実践講座は、研究を進めるにあたり、感じる不安や困り感を少しでも払拭したいとの思いから開催されてきました。「そもそも研究ってどこから始めるの?」「テーマと結論が結びついていないって言われても・・・」「指導案の作成に正解があるのか?」など、教育研究の専門家や研究に



ており、開催期日が近づきましたら案内文書を各分会に送らせていただきます。一人でも多くの方の御参加をお待ちしています。

